

インドネシア・ボンド・オープン (毎月決算型)

運用報告書（全体版）

第90期（決算日 2019年 5 月17日）
第91期（決算日 2019年 6 月17日）
第92期（決算日 2019年 7 月17日）
第93期（決算日 2019年 8 月19日）
第94期（決算日 2019年 9 月17日）
第95期（決算日 2019年10月17日）

（作成対象期間 2019年4月18日～2019年10月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドネシア・ルピア建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	9年11カ月間（2011年11月16日～2021年10月15日）		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	インドネシア・ボンド・マザーファンドの受益証券	
	インドネシア・ボンド・マザーファンド	インドネシア・ルピア建債券	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の 10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

◇TUZ0313020191017◇

<3130>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン GBIーEM インドネシア（円換算）		公 社 債 入 率 組 比	純 資 産 額
	（分配落）	税 込 金 分 配	期 騰 落 中 率	（参考指数）	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
66期末(2017年 5 月17日)	7,347	55	3.5	14,162	4.1	96.5	108
67期末(2017年 6 月19日)	7,298	55	0.1	14,277	0.8	97.1	107
68期末(2017年 7 月18日)	7,286	55	0.6	14,372	0.7	96.9	105
69期末(2017年 8 月17日)	7,155	55	△1.0	14,237	△0.9	96.8	100
70期末(2017年 9 月19日)	7,400	55	4.2	14,846	4.3	96.7	102
71期末(2017年10月17日)	7,373	55	0.4	14,842	△0.0	96.4	101
72期末(2017年11月17日)	7,276	55	△0.6	14,880	0.3	97.3	98
73期末(2017年12月18日)	7,193	55	△0.4	14,939	0.4	97.2	94
74期末(2018年 1 月17日)	7,371	55	3.2	15,401	3.1	105.0	89
75期末(2018年 2 月19日)	6,870	55	△6.1	14,414	△6.4	96.7	83
76期末(2018年 3 月19日)	6,581	55	△3.4	13,977	△3.0	96.5	80
77期末(2018年 4 月17日)	6,633	55	1.6	14,322	2.5	93.1	78
78期末(2018年 5 月17日)	6,446	55	△2.0	13,959	△2.5	96.8	76
79期末(2018年 6 月18日)	6,457	55	1.0	14,233	2.0	93.9	76
80期末(2018年 7 月17日)	6,200	55	△3.1	13,885	△2.4	94.2	73
81期末(2018年 8 月17日)	5,857	55	△4.6	13,188	△5.0	95.6	68
82期末(2018年 9 月18日)	5,562	55	△4.1	12,704	△3.7	95.9	62
83期末(2018年10月17日)	5,436	55	△1.3	12,436	△2.1	94.5	60
84期末(2018年11月19日)	5,804	55	7.8	13,522	8.7	95.1	64
85期末(2018年12月17日)	5,851	55	1.8	13,733	1.6	95.2	62
86期末(2019年 1 月17日)	5,832	55	0.6	13,853	0.9	96.2	62
87期末(2019年 2 月18日)	5,841	55	1.1	14,071	1.6	96.5	54
88期末(2019年 3 月18日)	5,947	55	2.8	14,583	3.6	96.1	55
89期末(2019年 4 月17日)	6,019	55	2.1	15,001	2.9	96.6	55
90期末(2019年 5 月17日)	5,532	55	△7.2	13,968	△6.9	96.9	51
91期末(2019年 6 月17日)	5,655	55	3.2	14,394	3.0	96.0	52
92期末(2019年 7 月17日)	6,002	55	7.1	15,412	7.1	96.9	54
93期末(2019年 8 月19日)	5,621	55	△5.4	14,635	△5.0	95.6	50
94期末(2019年 9 月17日)	5,751	55	3.3	15,203	3.9	95.3	50
95期末(2019年10月17日)	5,734	55	0.7	15,371	1.1	95.8	49

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）J Pモルガン GBIーEM インドネシア（円換算）は、J Pモルガン GBIーEM インドネシア（インドネシア・ルピアベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン GBIーEM インドネシア（インドネシア・ルピアベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

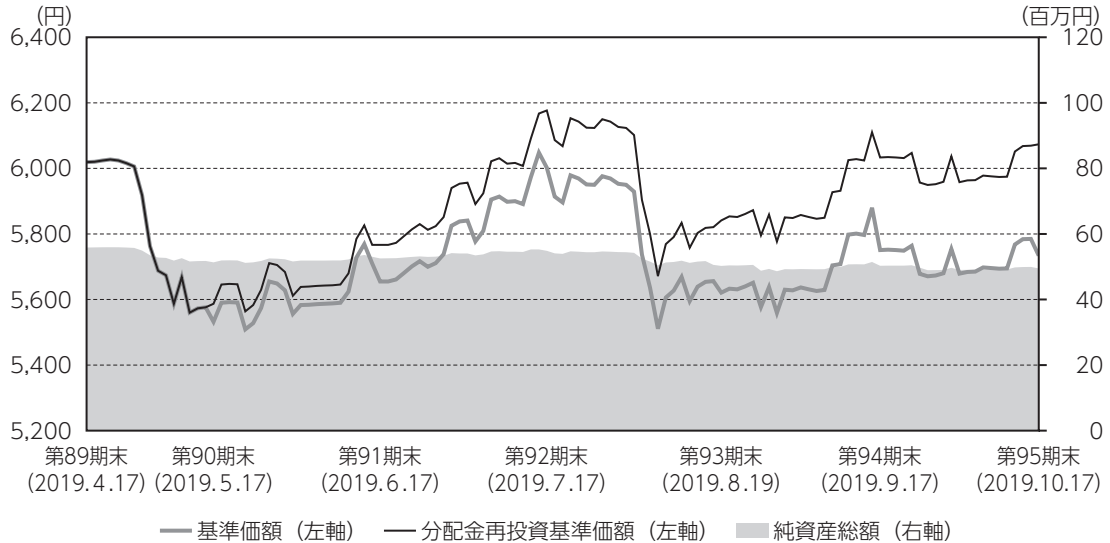
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第90期首：6,019円

第95期末：5,734円（既払分配金330円）

騰落率：0.9%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インドネシア・ルピア建ての債券に投資した結果、インドネシア・ルピアが対円で下落したことがマイナス要因となった一方で、債券の利息収入に加えて金利低下（債券価格は上昇）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

インドネシア・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン インドネシ (参考指数)	G B I－E M ア (円換算) 騰 落 率	公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率			
第90期	(期首) 2019年 4 月17日	円 6,019	% －	15,001	% －	% 96.6
	4 月末	5,918	△1.7	14,716	△1.9	96.4
	(期末) 2019年 5 月17日	5,587	△7.2	13,968	△6.9	96.9
第91期	(期首) 2019年 5 月17日	5,532	－	13,968	－	96.9
	5 月末	5,556	0.4	14,033	0.5	96.7
	(期末) 2019年 6 月17日	5,710	3.2	14,394	3.0	96.0
第92期	(期首) 2019年 6 月17日	5,655	－	14,394	－	96.0
	6 月末	5,825	3.0	14,847	3.1	95.9
	(期末) 2019年 7 月17日	6,057	7.1	15,412	7.1	96.9
第93期	(期首) 2019年 7 月17日	6,002	－	15,412	－	96.9
	7 月末	5,950	△0.9	15,246	△1.1	96.6
	(期末) 2019年 8 月19日	5,676	△5.4	14,635	△5.0	95.6
第94期	(期首) 2019年 8 月19日	5,621	－	14,635	－	95.6
	8 月末	5,628	0.1	14,642	0.1	96.1
	(期末) 2019年 9 月17日	5,806	3.3	15,203	3.9	95.3
第95期	(期首) 2019年 9 月17日	5,751	－	15,203	－	95.3
	9 月末	5,680	△1.2	15,023	△1.2	96.4
	(期末) 2019年10月17日	5,789	0.7	15,371	1.1	95.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.4.18～2019.10.17)

■インドネシア債券市況

インドネシア債券は金利が低下しました。

米中貿易摩擦による市場心理の悪化がインドネシア債券の金利上昇圧力となった一方で、世界経済の先行き懸念を受けた主要中央銀行による金融緩和姿勢への転換が世界的な金利低下につながりました。インドネシア中央銀行も金融緩和に転じたことやジョコ大統領の次期続投が決まったこと、また格付会社のS & Pグローバル・レーティングが同国の自国通貨建ておよび外国通貨建ての長期発行体格付けを「BBB-」から「BBB」に格上げしたことなどから、インドネシア債券の金利も低下しました。

■為替相場

インドネシア・ルピアは対円で下落しました。

米中貿易摩擦による市場心理の悪化がルピア安圧力とはなりましたが、ジョコ大統領の次期続投決定や改革案が評価されたこと、またインドネシアの格付けがS & Pに引き上げられたことなどを受けて、ルピア安は限定的にとどまりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「インドネシア・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■インドネシア・ボンド・マザーファンド

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

ポートフォリオについて

(2019.4.18～2019.10.17)

■当ファンド

「インドネシア・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

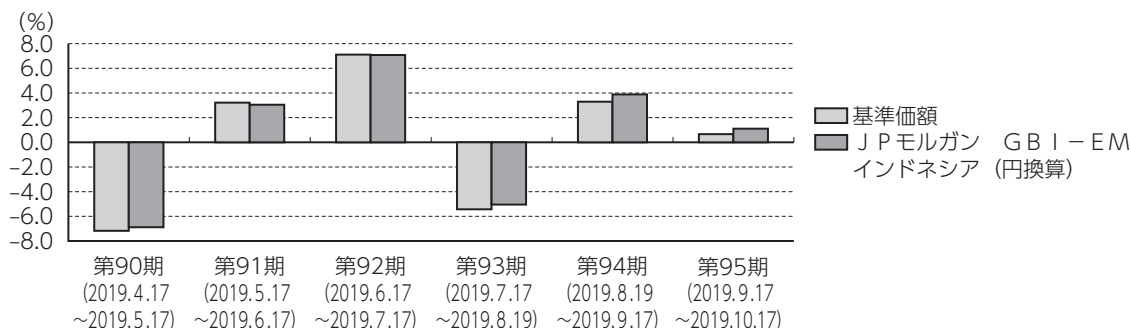
■インドネシア・ボンド・マザーファンド

インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。債券ポートフォリオは、インドネシア国債および国際機関債で運用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインドネシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2019年4月18日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年6月17日	2019年6月18日 ～2019年7月17日	2019年7月18日 ～2019年8月19日	2019年8月20日 ～2019年9月17日	2019年9月18日 ～2019年10月17日
当期分配金（税込み）（円）	55	55	55	55	55	55
対基準価額比率（％）	0.98	0.96	0.91	0.97	0.95	0.95
当期の収益（円）	24	31	30	26	28	25
当期の収益以外（円）	30	23	24	28	26	29
翌期繰越分配対象額（円）	1,707	1,683	1,659	1,630	1,603	1,574

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 24.76円	✓ 31.04円	✓ 30.93円	✓ 26.58円	✓ 28.08円	✓ 25.67円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,737.33	✓ 1,707.11	✓ 1,683.16	✓ 1,659.10	✓ 1,630.69	✓ 1,603.78
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,762.10	1,738.15	1,714.09	1,685.68	1,658.78	1,629.46
(f) 分配金	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,707.10	1,683.15	1,659.09	1,630.68	1,603.78	1,574.46

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「インドネシア・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■インドネシア・ボンド・マザーファンド

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2019.4.18～2019.10.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0.725%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,735円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0.325)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.379)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	9	0.165	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.081)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(5)	(0.081)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	51	0.890	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

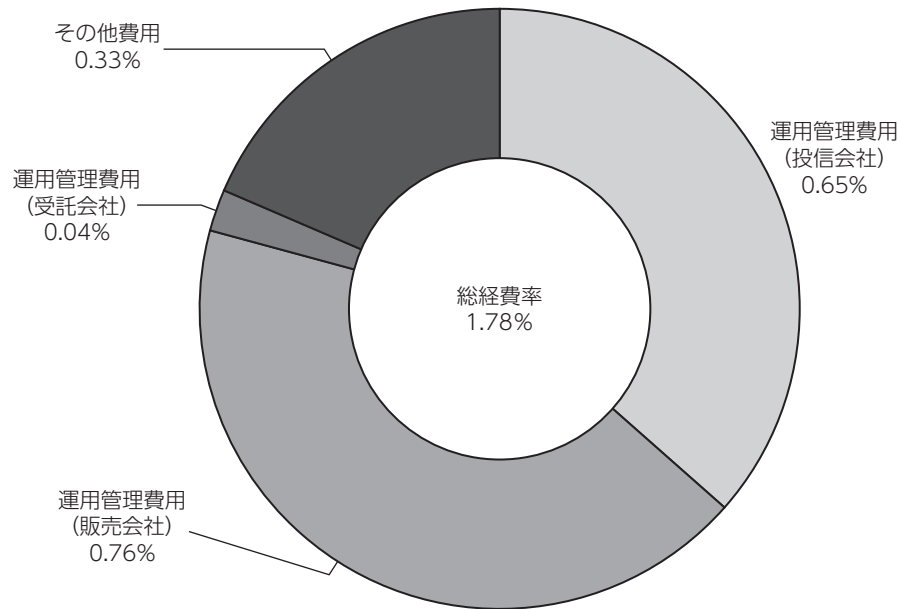
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年4月18日から2019年10月17日まで)

決 算 期	第 90 期 ～ 第 95 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
インドネシア・ボンド・マザーファンド	—	—	5,209	7,013

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第89期末	第 95 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
インドネシア・ボンド・マザーファンド	40,537	35,328	49,265

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年5月17日)、(2019年6月17日)、(2019年7月17日)、(2019年8月19日)、(2019年9月17日)、(2019年10月17日)現在

項 目	第 90 期 末	第 91 期 末	第 92 期 末	第 93 期 末	第 94 期 末	第 95 期 末
(A) 資産	51,925,866円	53,100,397円	56,102,097円	51,985,087円	50,844,379円	50,026,969円
コール・ローン等	819,605	811,360	825,397	805,897	765,072	761,627
インドネシア・ボンド・マザーファンド(評価額)	51,106,261	52,289,037	54,613,211	50,025,126	50,079,307	49,265,342
未収入金	—	—	663,489	1,154,064	—	—
(B) 負債	575,325	575,302	1,239,120	1,725,353	540,184	536,240
未払収益分配金	510,552	510,875	502,761	491,749	481,076	474,733
未払解約金	—	—	671,338	1,163,149	—	—
未払信託報酬	64,422	63,734	63,978	69,033	57,369	59,438
その他未払費用	351	693	1,043	1,422	1,739	2,069
(C) 純資産総額(A－B)	51,350,541	52,525,095	54,862,977	50,259,734	50,304,195	49,490,729
元本	83,544,997	83,597,777	82,269,977	80,468,092	78,721,548	77,683,660
次期繰越損益金	△32,194,456	△31,072,682	△27,407,000	△30,208,358	△28,417,353	△28,192,931
(D) 受益権総口数	92,827,784□	92,886,429□	91,411,095□	89,409,000□	87,468,396□	86,315,188□
1万口当り基準価額(C/D)	5,532円	5,655円	6,002円	5,621円	5,751円	5,734円

* 第89期末における元本額は83,496,928円、当作成期間（第90期～第95期）中における追加設定元本額は308,815円、同解約元本額は6,122,083円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は5,734円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は28,192,931円です。

■投資信託財産の構成

2019年10月17日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インドネシア・ボンド・マザーファンド	49,265	98.5
コール・ローン等、その他	761	1.5
投資信託財産総額	50,026	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.74円、100インドネシア・ルピア＝0.77円です。

(注3) インドネシア・ボンド・マザーファンドにおいて、第95期末における外貨建純資産（48,956千円）の投資信託財産総額（49,264千円）に対する比率は、99.4%です。

■損益の状況

項 目	第90期		第91期		第92期		第93期		第94期		第95期	
	第90期	第91期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第94期	第95期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	-円	△ 6円	△ 2円	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 1円
支払利息	-	△ 6	△ 2	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1
(B) 有価証券売買損益	△ 3,948,825	1,717,069	3,739,236	△ 2,840,443	1,674,047	384,274						
売買益	-	1,717,069	3,781,974	69,274	1,680,038	397,231						
売買損	△ 3,948,825	-	△ 42,738	△ 2,909,717	△ 5,991	△ 12,957						
(C) 信託報酬等	△ 64,775	△ 64,076	△ 64,328	△ 69,412	△ 57,686	△ 59,768						
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,013,600	1,652,987	3,674,906	△ 2,909,856	1,616,360	324,505						
(E) 前期繰越損益金	△23,905,003	△28,148,476	△26,342,019	△22,433,724	△25,009,346	△23,311,377						
(F) 追加信託差損益金	△ 3,765,301	△ 4,066,318	△ 4,237,126	△ 4,373,029	△ 4,543,291	△ 4,731,326						
(配当等相当額)	(16,127,322)	(15,856,740)	(15,385,985)	(14,833,920)	(14,263,420)	(13,843,140)						
(売買損益相当額)	(△19,892,623)	(△19,923,058)	(△19,623,111)	(△19,206,949)	(△18,806,711)	(△18,574,466)						
(G) 合計(D+E+F)	△31,683,904	△30,561,807	△26,904,239	△29,716,609	△27,936,277	△27,718,198						
(H) 収益分配金	△ 510,552	△ 510,875	△ 502,761	△ 491,749	△ 481,076	△ 474,733						
次期繰越損益金(G+H)	△32,194,456	△31,072,682	△27,407,000	△30,208,358	△28,417,353	△28,192,931						
追加信託差損益金	△ 4,045,980	△ 4,288,816	△ 4,457,119	△ 4,627,114	△ 4,778,704	△ 4,984,425						
(配当等相当額)	(15,846,643)	(15,634,242)	(15,165,992)	(14,579,835)	(14,028,007)	(13,590,041)						
(売買損益相当額)	(△19,892,623)	(△19,923,058)	(△19,623,111)	(△19,206,949)	(△18,806,711)	(△18,574,466)						
繰越損益金	△28,148,476	△26,783,866	△22,949,881	△25,581,244	△23,638,649	△23,208,506						

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
(a) 経費控除後の配当等収益	229,873円	288,377円	282,768円	237,664円	245,663円	221,634円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	16,127,322	15,856,740	15,385,985	14,833,920	14,263,420	13,843,140
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	16,357,195	16,145,117	15,668,753	15,071,584	14,509,083	14,064,774
(f) 分配金	510,552	510,875	502,761	491,749	481,076	474,733
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	15,846,643	15,634,242	15,165,992	14,579,835	14,028,007	13,590,041
(h) 受益権総口数	92,827,784□	92,886,429□	91,411,095□	89,409,000□	87,468,396□	86,315,188□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
1 万 口 当 り 分 配 金	55円	55円	55円	55円	55円	55円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

インドネシア・ボンド・マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2019年10月17日）

（作成対象期間 2018年10月18日～2019年10月17日）

インドネシア・ボンド・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

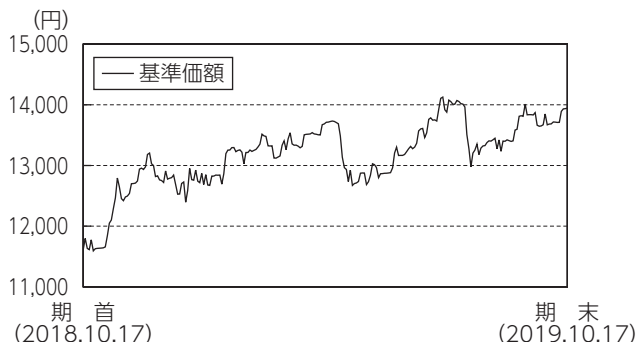
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドネシア・ルピア建債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン イ ン ド ネ シ ア (円換算)		G B I - E M イ ン ド ネ シ ア (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年10月17日	円 11,614	% -	12,436	% -	12,436	% -	% 94.9
10月末	11,642	0.2	12,594	1.3	12,594	1.3	94.7
11月末	12,978	11.7	14,085	13.3	14,085	13.3	96.4
12月末	12,728	9.6	13,732	10.4	13,732	10.4	95.5
2019年 1 月末	12,692	9.3	13,689	10.1	13,689	10.1	96.1
2 月末	13,352	15.0	14,478	16.4	14,478	16.4	96.9
3 月末	13,292	14.4	14,482	16.5	14,482	16.5	96.4
4 月末	13,486	16.1	14,716	18.3	14,716	18.3	96.8
5 月末	12,799	10.2	14,033	12.8	14,033	12.8	97.2
6 月末	13,570	16.8	14,847	19.4	14,847	19.4	96.3
7 月末	14,012	20.6	15,246	22.6	15,246	22.6	97.1
8 月末	13,399	15.4	14,642	17.7	14,642	17.7	96.5
9 月末	13,671	17.7	15,023	20.8	15,023	20.8	96.8
(期末)2019年10月17日	13,945	20.1	15,371	23.6	15,371	23.6	96.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M イ ン ド ネ シ ア (円換算) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M イ ン ド ネ シ ア (インドネシア・ルピアベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M イ ン ド ネ シ ア (インドネシア・ルピアベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,614円 期末：13,945円 騰落率：20.1%

【基準価額の主な変動要因】

インドネシア・ルピア建ての債券に投資した結果、債券の利息収入や金利低下（債券価格は上昇）、またインドネシア・ルピアが対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ インドネシア債券市況

インドネシア債券は金利が低下しました。

当作成期の前半は、2018年11月にかけて、原油価格の下落を受けて経常収支の改善が見込まれたことや、インドネシア中央銀行が通貨安を警戒して予防的に利上げを行ったことで安心感が広がり、金利は低下しました。2019年1月以降は、主要先進国各国の中央銀行が金融引き締め姿勢を後退させたことや、インドネシアのインフレ率の減速が続いたことで、金利は低下しました。

当作成期の後半は、米中貿易摩擦による市場心理の悪化がインドネシア債券の金利上昇圧力となった一方で、世界経済の先行きへの懸念を受けた主要中央銀行による金融緩和姿勢への転換が世界的な金利低下につながりました。インドネシア中央銀行も金融緩和に転じたことやジョコ大統領の次期統投が決まったこと、また格付会社のS & Pグローバル・レーティングが同国の自国通貨建ておよび外国通貨建ての長期発行体格付けを「BBB-」から「BBB」に格上げしたことなどから、インドネシア債券の金利も低下しました。

○ 為替相場

インドネシア・ルピアは対円で上昇しました。

当作成期の前半は、当作成期首から2018年11月にかけて、原油価格の下落を受けて経常収支の改善が見込まれたことで、ルピアは対円で上昇しました。12月には、月前半の世界的な株価下落局面のリスク回避的な動きからルピアは対米ドルおよび対円で下落しました。2019年1月以降は、米国の利上げ観測が後退したことや米中貿易摩擦に対し楽観的な見方が増えたことに加えて、インドネシア中央銀行が断続的なルピア買い介入を行ったことから、対米ドルおよび対円で上昇しました。

当作成期の後半は、米中貿易摩擦による市場心理の悪化がルピア安圧力とはなりませんが、ジョコ大統領の次期統投決定や改革案が評価されたこと、またインドネシアの格付けがS & Pに引き上げられたことなどを受けて、ルピア安は限定的にとどまりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

◆ ポートフォリオについて

インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。債券ポートフォリオ全体では、インドネシア国債の組み入れを高位に保ちました。また、国際機関債の組み入れも行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインドネシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	37
（保管費用）	(24)
（その他）	(14)
合 計	37

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2018年10月18日から2019年10月17日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	インドネシア	国債証券	千インドネシア・ルピア 389,325	千インドネシア・ルピア 1,275,802 (－)
		特殊債券	－	1,283,487 (－)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) (－)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年10月18日から2019年10月17日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Indonesia Treasury Bond（インドネシア） 9.5% 2041/5/15	千円 2,997	EUROPEAN INVESTMENT BANK（国際機関） 6.95% 2020/2/6	千円 4,925
		Indonesia Treasury Bond（インドネシア） 6.375% 2042/4/15	4,291
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK（国際機関） 6.25% 2021/6/15	4,168
		Indonesia Treasury Bond（インドネシア） 8.75% 2044/2/15	2,558
		Indonesia Treasury Bond（インドネシア） 6.625% 2033/5/15	1,617
		Indonesia Treasury Bond（インドネシア） 8.375% 2034/3/15	1,344
		EUROPEAN INVESTMENT BANK（国際機関） 7.2% 2019/7/9	768

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期 区 分	当		期			末		
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
インドネシア	千インドネシア・ルピア 6,218,000	千インドネシア・ルピア 6,160,070	千円 47,432	% 96.3	% －	% 65.9	% 1.6	% 28.8

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当		期			末																
区	分	銘	柄	種	類	年	利	率	額	面	金	額	評		価	額	償	還	年	月	日
													外	貨							
インドネシア		Indonesia Treasury Bond	国	債	証	券	9.5000		358,000		411,309		3,167		2041/05/15						
		Indonesia Treasury Bond	国	債	証	券	7.0000		100,000		101,482		781		2022/05/15						
		Indonesia Treasury Bond	国	債	証	券	6.3750		1,500,000		1,242,000		9,563		2042/04/15						
		Indonesia Treasury Bond	国	債	証	券	6.6250		330,000		303,025		2,333		2033/05/15						
		Indonesia Treasury Bond	国	債	証	券	8.3750		1,450,000		1,551,949		11,950		2034/03/15						
		Indonesia Treasury Bond	国	債	証	券	8.7500		660,000		709,612		5,464		2044/02/15						
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特	殊	債	券	6.9500		950,000		949,667		7,312		2020/02/06						
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特	殊	債	券	9.2500		800,000		821,640		6,326		2020/12/02						
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特	殊	債	券	6.2500		70,000		69,384		534		2021/06/15						
合	計	銘	柄	数	額					6,218,000		6,160,070		47,432							

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年10月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	47,432	96.3
コール・ローン等、その他	1,832	3.7
投資信託財産総額	49,264	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.74円、100インドネシア・ルピア＝0.77円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（48,956千円）の投資信託財産総額（49,264千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年10月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	49,264,583円
コール・ローン等	675,535
公社債(評価額)	47,432,545
未収利息	1,156,503
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	49,264,583
元本	35,328,320
次期繰越損益金	13,936,263
(D) 受益権総口数	35,328,320口
1万口当り基準価額(C／D)	13,945円

* 期首における元本額は51,882,909円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は16,554,589円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インドネシア・ボンド・オープン（毎月決算型）35,328,320円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,945円です。

■損益の状況

当期 自2018年10月18日 至2019年10月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,710,972円
受取利息	3,711,095
支払利息	△ 123
(B) 有価証券売買損益	7,043,455
売買益	7,163,686
売買損	△ 120,231
(C) その他費用	△ 157,674
(D) 当期損益金(A + B + C)	10,596,753
(E) 前期繰越損益金	8,374,591
(F) 解約差損益金	△ 5,035,081
(G) 合計(D + E + F)	13,936,263
次期繰越損益金(G)	13,936,263

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。